



## Kobe Shoin Women's University Repository

Title	簡約日本語 The Simplified Japanese
Author(s)	野元 菊雄 (NOMOTO Kikuo)
<i>Citation</i>	文林 (BUNRIN), No.26 : 1-36
Issue Date	1992
Resource Type	Bulletin Paper / 紀要論文
Resource Version	
URL	
Right	
Additional Information	

# 簡 約 日 本 語

## 野 元 菊 雄

日本語が世界で多く学ばれるようになってきました。ある言語が国際化し、学習人口が増えると、いろいろなことがその言語の上に起こってきます。

その変化のうちの一つには、日本語そのものは目的というよりは手段になってしまうということがあります。そうになると学習者の目的は、技術を習得するため、××学で博士号とるため、などとなりますから、日本語学習にはなるべく時間をかけない方がいいこととなります。極端な場合、ある技術研修機関では、あるクラスの日本語教師に十時間で日本語を教えるよう要求があった、という例もありました。十時間の日本語でどんなことが教えられるのでしょうか。日常のあいさつとか、買い物時の言葉とかを教えて十時間を過ごすことも可能ですし、多くはそうしていると思います。しかし、それだけではちょっともったいない気がします。日本語とはどういうものを少しでも頭に残すようなものを教えるべきではないか、と考えます。例えば英語などがSVOなのに対して日本語はSOVであるとか、単数・複数はそれほど気にしなくてもいいとかは覚えておいてもらいたい、と思います。

けれども一方で時間は非常に限られていますから、日本語の難しい点を

取り払い、エッセンスによる日本語を創り、そこから学習し始めるのが効率的です。このようにして作った日本語を「簡約日本語」ということにします。といってもこれは初歩のところ、あと次々とステップを重ねていって、最終的には日本人の日本語と同じところまでいくものと考えます。この点では他の第二言語教育と全く同様です。

ところがその初歩だけが簡約日本語であり、これだけだ、という誤解が世間にあるようです。しかし、このシステムで始めた全過程を「簡約日本語」と呼ぶことにします。

この「簡約日本語」をわたしはずいぶん昔から提唱していました。そのときは一部分にしか反響はありませんでしたが、昭和62年2月26日の朝日新聞夕刊にこの記事が出てからは、大分世間を騒がせることとなりました。賛否相半ばする、というと恰好はいいけれど、実は反対論の方が多いようでした。神聖な日本語をゆがめるのか、といった精神論的愛国者の反対は素朴なもので何ら意とするほどのことはありません。また、これはこれでいいとして、これを習った外国人がこれを使って話しかけてきたらどうするのか、われわれもまたこれを使わなければならないだろう、という反対論で、これは、してやったりという顔で言うのが大部分です。しかしこれは言葉を知らない者の言うことです。あのすごいインド英語をイギリス人はよく理解しますが、それへの応答はインド英語など使っていません。むしろ日本人は純正の日本語で答えるべきです。これが教育的な態度というものでしょう。

これらにも増して声高の反対論は、わたしに言わせれば、日本語についてのエリートの外国人から起こりました。外国人向けのやさしい日本語を

作って、それを学習させるのは差別である、というのです。しかしどんな外国語教育もやさしい（初級の）ところから出発するのが常です。反対はこの初歩だけが簡約日本語だどという誤解から出発しています。これらの人はあまりにもエリートであり、立派な日本語が使えるものですから、初心を忘れた、といっってはよくないでしょうが、学習し始めたころのことを忘れてしまったものでしょう。これも問題とするに足りないものです。

さて、次に具体的に簡約日本語のステップⅠ、ステップⅡについてあげてみましょう。

ステップⅠ

Ⅰ. 第一課

		1	2		3	4
		名詞文	形容詞文	形容動詞文	動詞文	存在文
現 在	肯定文	Nです N <sub>1</sub> はN <sub>2</sub> です	Aいです NはAいです	Naです NはNaです	Vます NはVます	Vます NにVます
	否定文	Nではありません N <sub>1</sub> はN <sub>2</sub> ではありません	Aくはありません NはAくはありません	Naではありません NはNaではありません	Vません NはVません	Vません NはVません
過 去	肯定文	形容動詞文と同じでできることを形容動詞文のところで説明	Aいでした NはAいでした	Naでした NはNaでした	Vました NはVました	Vました NはVました
	否定文	形容動詞文のところで説明	Aくはありませんでした NはAくはありませんでした	Naではありませんでした NはNaではありませんでした	Vませんでした NはVませんでした	Vませんでした NにVませんでした
連体修飾用法		N <sub>1</sub> のN <sub>2</sub> です	AいNです	NaなNです	辞書形を与えるまで教えない	

5. 助詞

1. を	2. に	3. から	4. まで	5. で
[目的語] をV ます	[補語] にVま す	NからVます	NまでVます	[手段]でVま す
	[時間]にVま す		N,からN,ま でVます	[場所]でVま す
	[場所]にVま す			[場所]で[目 的語]をVま す
	[到達点]にV ます			[時間]に[場 所]で[目的 語]をVます
	[補語]に[目 的語]をVま			

II. 第二課

希望の表現	意志の表現	消極的行為要求の表現	積極的行為要求の表現
Vたいです	Vます	Vませんか	Vなさい(ますよう (おねがいします))
Vたくは ありません	Vましょう	Vますよう おねがいします	おVください
Nがほしい です		Nをおねがいします	Nを(わたしに) ください
Nがほしく はありません			

ステップⅡ

Ⅲ、第三課

Ⅲ-1 あいさつ

- Ⅲ-1-1 こんにちは  
こんばんは  
さよ(う)なら  
失礼します
- Ⅲ-1-2 おはよう(ございます)  
おやすみ(なさい(ませ))
- Ⅲ-1-3 いってきます  
いってまいります  
いって(い)らっしゃい
- Ⅲ-1-4 ただいま(かえりました)  
おかえり(なさい(ませ))
- Ⅲ-1-5 いただきます  
ごちそうさま

Ⅲ-2 紹介 など

- Ⅲ-2-1 はじめまして  
はじめまして
- Ⅲ-2-2 Aです
- Ⅲ-2-3 よろしく(お願いします)
- Ⅲ-2-4 こちらBさんです  
Bです どうぞよろしく(お願いします)

Ⅲ-3 かいもの など

- Ⅲ-3-1 Cはどこにありますか  
ここ、そこ、あそこ にあります
- Ⅲ-3-2 Cはありますか  
あります  
ありません
- Ⅲ-3-3 Cをください これ、それ、あれ
- Ⅲ-3-4 CをDください

- Ⅲ-3-5 Cは(お)いくらですか  
E円です
- Ⅲ-3-6 どのくらいかかりますか  
E円くらいかかります
- Ⅲ-3-7 (Fから)(Gまで)どのくらいかかりますか  
H時間くらいかかります
- Ⅲ-3-8 (Fから)(Gまで)いくらですか  
E円です
- Ⅲ-3-9 いまなん時ですか  
I時～分です

Ⅲ-4

Ⅲ-4-1 D.

	ひとつ	ふたつ	みっつ	よっつ	いつつ	むっつ	ななつ	やっつ	ここのつ	とお
-個	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
	こ	いっ	に	さん	よん	ご	ろっ	しち	はち	きゅう
										(なな)(はっ)

-枚

まい	いち		よ		ろく		はち
			(よん)				

-グラム

よん

-センチ

いっ

はっ

-メートル

いち

はち

-キロ

ろっ

はち

(はっ)

II-4-2 E.

-円	一	二	三	四	五	六	七	八	九
えん	いち	に	さん	よ	ご	ろく	しち	はち	きゅう
									(なな)

十									
じゅう ×				よん					
百									
ひゃく ×						ろっ	はっ		
			(-びゃく)			(-びゃく)	(-びゃく)		
千									
せん(いっ)									
			(-せん)						
万									
まん								はち	
億									
おく									

III-4-3 H.

-時間	一	二	三	四	五	六	七	八	九
じかん	いち	に	さん	よ	ご	ろく	しち	はち	きゅう
								(なな)	(く)
~十~									
じゅう ×				よん					
-分	一	二	三	四	五	六	七	八	九
ふん	いっ			よん	ご	ろっ		はっ	きゅう
	(-ぶん)		(-ぶん)	(-ぶん)		(-ぶん)		(-ぶん)	
十分									
じゅうぶん ×						ろく		はち	
(~)十~分		十分、-分と同じ							
じゅう ぶん									



Ⅲ-4-4 I.

時 ○ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十  
 じ れい いち に きん よ ご ろく しち はち くじゅう  
 (なな)

十一 十二

じゅういち じゅうに

-分 は 日と同じ

三分 → 半

はん

午前 午後

ごぜん ごご

IV. 第四課 デス・マスのその他の形

1. デス・マスの活用

Vません(既出) × → Aくはありません/  
 N/Naではありません(既出)

Vましたら N/A/Naでしたら

Vますなら (N/A/Naですなら)

(Vますれば) N/Naであれば→Aければ

Vます(既出) N/A/Naです(既出)

Vます時 (N/A/Naです時)

Vますので/から N/A/Naですので/から

2. 他の動詞がつづく形

Vはじめます

Vおわります

Vすぎます

Vたります

・

・

・

↓

Vたまえは止める

3. 敬語

おVになります

いらっしゃいます

4. 名詞

V

ステップⅡまでは動詞は活用を教えず、すべてマスをつけて、マスの活用だけとすることとしています。これは簡約日本語の低いステップ、Ⅱまでは一貫して取るのがいいでしょう。ステップⅢからマスにつづく形以外のものに絞っていく予定です。このようにマスから出発するのは、まずは動詞によっていろいろ活用を覚える時間のない場合のことを考えて出発しようと言うところからで、別にこの形が現実が多いからではありません。このことを「書く」という動詞について実際のところを見てみます。

使った資料は新聞KWICと言語生活KWICと呼ぶものです。新聞KWICは、少し古いのですが、昭和41年の1年分の新聞語彙調査でサンプルになった語の文脈付き語彙表で、言語生活KWICは雑誌「言語生活」の創刊から終刊まですべての「録音器」欄のこれも文脈付き語彙表です。前者は書き言葉の代表として以下「書」と略し、後者は話し言葉の代表として以下「話」と略します。延語数は「書」が671,697語、「話」は410,662語です。

簡約日本語については、雑誌「日本語学」1991年4月号に「簡約日本語の創成」という題で、わたしは他の二人の方と共同執筆しました（以下「日本語学」としてこれを示します）。今回のこの文は、これとも重なる部分が少しあります。「日本語学」の方ではKWIC（Keywords in Context. 文脈付き索引）なるものについて概念が得られるように「わかる」という語に関して、図に示しましたが、指定どおりにしてくれなかったので、意に添わないものとなりました。ここでもその訂正の意味で、正しい図を示します。この図に関しては「日本語学」の方は改めることとします。図では漢字仮名まじりが「書」で、片仮名が「話」のKWICです。

04009C1010209  
21712A0007021  
60088J1000001  
34429J1002029  
20214C1010029  
54156C1001004  
58104C1002009  
60344J1001002  
30145C1009036  
29998A0001027  
39852K0006042  
87553J1007010  
70759A0005014  
78356J1002012  
36629C10012046  
23664J1005016  
23797C1003013  
29368C1005012  
18185K0001029  
14339A0004026  
01790J1000801  
08594J1004013  
07102A0007032  
10407J1001004  
22166A0007003  
23140A0008038  
23746K0002004  
25088C1005027  
25088C1005054  
38838K0006014  
50383C1002028  
50772C1002010  
57172A0008002  
62625J1001021  
66587A0010006  
61782K0002003  
06109J1001022  
07521J1008017  
36838J1001068  
36838J1001104  
07490A0012010  
05209A0015017  
36838J1001180  
37309A0001043  
78484A00018018  
09990C1007950  
40221A0006034  
41657A0001008  
84589A00011024  
04518C1015035  
69983A00010021  
09890C1007023  
35315C1010018  
39633C1003020  
41657A0002011  
71212K0003061  
48384A0005004  
50526C1005025  
50526C1007006  
08422J1003077  
08410J1004037  
10997A0003003  
11893K0002010  
19321A0004147  
14332A0003014  
16743A0002023

2=m2和洋8室環境贈典秀委託  
4545和686車庫が水産委託  
東映くる川原現映立川現映南座  
に生かす信仰「炭焼と人間」藤田  
海部次官をつかまえて「自民党も  
百四十回むね。ビックリするほど  
しかも、それら底町の植しゅうは  
ビル内横浜31」5428~93  
衆中待客が炎330」1646  
茶々「情願」に動める嘆子をめぐる  
坂一助前名人生を送って、二三歳  
の年齢の彼女に、彼はその時、  
取材部員・新聞記者に同棲する。  
流行りのトップM=芙蓉船員謀議  
のむらに告げてM=およりも  
14339A0004026  
「高たのびは屋下りの情事・  
ラオ風巻をはじめ、年の功あり、  
春秋文」第一个公演は、偵之助の  
おとしらうです。ユベロンので  
なつ。あなたを美しく早春のた  
またえ「自由な時間」「情熱」「  
なだいなだ実演親子袖0カラ  
ハキ」面衣後4〜8時」貴女の  
指さす。衣袋全員貸す。経験聞  
けなしのクルールの格闘があなたの  
た商品用品を販売している会社で  
50772C1002010  
20世紀以下の成長株ですM=0  
62625J1001021  
おがボーンのおしゅれセーター  
まをえええ、早桜は北蕨山に  
も」18、800円はつらつた  
06109J1001022  
金剛の意比勢ナツ工場案内工  
36838J1001068  
とつて組くゆるめるくも野野  
しかも超くの組織は、便さき、  
小権からタキギを拾ってプロを  
でもな船効果がよいのでナカンで  
07309A0001043  
「M=質問時間35「風海軍の歌」  
り劇し」響門響見山くめ出し  
川原河津海軍演習場宇多川橋ノ國  
09990C1007950  
命のし9降雪ノ海をまたすくしい  
要理面談田原野市鎮中橋沢明喉  
教諭ら三枚船の協力による日夜を  
11花若天22橋玉青里817  
ノ道風山青ノ里寄り切り」若乃洲  
ノ瀬川瀧浦相模川相模川園橋亮  
貴も楽しむ」大花山おしだし  
41657A0002011  
若乃洲の花若天電小城花巻・花  
たが、それもム。しかないとい  
0）答というは案外に少ないこと  
08422J1003077  
08410J1004037  
10997A0003003  
11893K0002010  
19321A0004147  
14332A0003014  
16743A0002023

若尾 南車312」7131〜87ア上層階歩8分地1655m2付  
若尾 南車和京多摩駅歩3分45坪付420万3画内庭24坪庭広岡秀  
若尾 文子・伊藤孝雄中原市山下海一劇原若若若若若若若若若若若若若  
若尾 他7・00あるの村づくり「みかん産地の雄雄力」8・00歴代  
若尾 志返り。たものですね。それにひきかえ社会党は最年少議員が四十二歳  
若尾 志返り。ますイノチがかよっているような精巧さ。誰にも傷つかない  
若尾 志返り。その当時六十五歳の石井次郎氏、六十四歳の大型俳優氏ら  
若尾 志返り。〜ジュ〜とリ・フレッシュケダ信懸票六枚収録アジア屋  
若尾 志返り。京成八千代台歩四南産庭二年6645総括79万京部39万5  
若尾 志返り。第一、大都会のビル各間に埋もれながら車道までよく生き  
若尾 志返り。登山家の野然な貌と死をまぎんだベストセラー小説、増刷出来、  
若尾 志返り。悪人たちの悲歌」の作者が指揮者として終日大ハンズ・ウエル  
若尾 志返り。ベルリン・ドイツ・オペラ公演  
若尾 志返り。間とチヌ人間、美談のターラと  
若尾 志返り。祭典係主演ベル・オカガノ  
若尾 志返り。年巻誌930」16467667  
若尾 志返り。ラオ風巻に、彼はその時、  
若尾 志返り。取材部員・新聞記者に同棲する。  
若尾 志返り。流行りのトップM=芙蓉船員謀議  
若尾 志返り。のむらに告げてM=およりも  
若尾 志返り。14339A0004026  
若尾 志返り。「高たのびは屋下りの情事・  
若尾 志返り。ラオ風巻をはじめ、年の功あり、  
若尾 志返り。春秋文」第一个公演は、偵之助の  
若尾 志返り。おとしらうです。ユベロンので  
若尾 志返り。なつ。あなたを美しく早春のた  
若尾 志返り。またえ「自由な時間」「情熱」「  
若尾 志返り。なだいなだ実演親子袖0カラ  
若尾 志返り。ハキ」面衣後4〜8時」貴女の  
若尾 志返り。指さす。衣袋全員貸す。経験聞  
若尾 志返り。けなしのクルールの格闘があなたの  
若尾 志返り。た商品用品を販売している会社で  
若尾 志返り。50772C1002010  
若尾 志返り。20世紀以下の成長株ですM=0  
若尾 志返り。62625J1001021  
若尾 志返り。おがボーンのおしゅれセーター  
若尾 志返り。まをえええ、早桜は北蕨山に  
若尾 志返り。も」18、800円はつらつた  
若尾 志返り。06109J1001022  
若尾 志返り。金剛の意比勢ナツ工場案内工  
若尾 志返り。36838J1001068  
若尾 志返り。とつて組くゆるめるくも野野  
若尾 志返り。しかも超くの組織は、便さき、  
若尾 志返り。小権からタキギを拾ってプロを  
若尾 志返り。でもな船効果がよいのでナカンで  
若尾 志返り。07309A0001043  
若尾 志返り。「M=質問時間35「風海軍の歌」  
若尾 志返り。り劇し」響門響見山くめ出し  
若尾 志返り。川原河津海軍演習場宇多川橋ノ國  
若尾 志返り。09990C1007950  
若尾 志返り。命のし9降雪ノ海をまたすくしい  
若尾 志返り。要理面談田原野市鎮中橋沢明喉  
若尾 志返り。教諭ら三枚船の協力による日夜を  
若尾 志返り。11花若天22橋玉青里817  
若尾 志返り。ノ道風山青ノ里寄り切り」若乃洲  
若尾 志返り。ノ瀬川瀧浦相模川相模川園橋亮  
若尾 志返り。貴も楽しむ」大花山おしだし  
若尾 志返り。41657A0002011  
若尾 志返り。若乃洲の花若天電小城花巻・花  
若尾 志返り。たが、それもム。しかないとい  
若尾 志返り。0）答というは案外に少ないこと  
若尾 志返り。08422J1003077  
若尾 志返り。08410J1004037  
若尾 志返り。10997A0003003  
若尾 志返り。11893K0002010  
若尾 志返り。19321A0004147  
若尾 志返り。14332A0003014  
若尾 志返り。16743A0002023

若尾 南車312」7131〜87ア上層階歩8分地1655m2付  
若尾 南車和京多摩駅歩3分45坪付420万3画内庭24坪庭広岡秀  
若尾 文子・伊藤孝雄中原市山下海一劇原若若若若若若若若若若若若若  
若尾 他7・00あるの村づくり「みかん産地の雄雄力」8・00歴代  
若尾 志返り。たものですね。それにひきかえ社会党は最年少議員が四十二歳  
若尾 志返り。ますイノチがかよっているような精巧さ。誰にも傷つかない  
若尾 志返り。その当時六十五歳の石井次郎氏、六十四歳の大型俳優氏ら  
若尾 志返り。〜ジュ〜とリ・フレッシュケダ信懸票六枚収録アジア屋  
若尾 志返り。京成八千代台歩四南産庭二年6645総括79万京部39万5  
若尾 志返り。第一、大都会のビル各間に埋もれながら車道までよく生き  
若尾 志返り。登山家の野然な貌と死をまぎんだベストセラー小説、増刷出来、  
若尾 志返り。悪人たちの悲歌」の作者が指揮者として終日大ハンズ・ウエル  
若尾 志返り。ベルリン・ドイツ・オペラ公演  
若尾 志返り。間とチヌ人間、美談のターラと  
若尾 志返り。祭典係主演ベル・オカガノ  
若尾 志返り。年巻誌930」16467667  
若尾 志返り。ラオ風巻に、彼はその時、  
若尾 志返り。取材部員・新聞記者に同棲する。  
若尾 志返り。流行りのトップM=芙蓉船員謀議  
若尾 志返り。のむらに告げてM=およりも  
若尾 志返り。14339A0004026  
若尾 志返り。「高たのびは屋下りの情事・  
若尾 志返り。ラオ風巻をはじめ、年の功あり、  
若尾 志返り。春秋文」第一个公演は、偵之助の  
若尾 志返り。おとしらうです。ユベロンので  
若尾 志返り。なつ。あなたを美しく早春のた  
若尾 志返り。またえ「自由な時間」「情熱」「  
若尾 志返り。なだいなだ実演親子袖0カラ  
若尾 志返り。ハキ」面衣後4〜8時」貴女の  
若尾 志返り。指さす。衣袋全員貸す。経験聞  
若尾 志返り。けなしのクルールの格闘があなたの  
若尾 志返り。た商品用品を販売している会社で  
若尾 志返り。50772C1002010  
若尾 志返り。20世紀以下の成長株ですM=0  
若尾 志返り。62625J1001021  
若尾 志返り。おがボーンのおしゅれセーター  
若尾 志返り。まをえええ、早桜は北蕨山に  
若尾 志返り。も」18、800円はつらつた  
若尾 志返り。06109J1001022  
若尾 志返り。金剛の意比勢ナツ工場案内工  
若尾 志返り。36838J1001068  
若尾 志返り。とつて組くゆるめるくも野野  
若尾 志返り。しかも超くの組織は、便さき、  
若尾 志返り。小権からタキギを拾ってプロを  
若尾 志返り。でもな船効果がよいのでナカンで  
若尾 志返り。07309A0001043  
若尾 志返り。「M=質問時間35「風海軍の歌」  
若尾 志返り。り劇し」響門響見山くめ出し  
若尾 志返り。川原河津海軍演習場宇多川橋ノ國  
若尾 志返り。09990C1007950  
若尾 志返り。命のし9降雪ノ海をまたすくしい  
若尾 志返り。要理面談田原野市鎮中橋沢明喉  
若尾 志返り。教諭ら三枚船の協力による日夜を  
若尾 志返り。11花若天22橋玉青里817  
若尾 志返り。ノ道風山青ノ里寄り切り」若乃洲  
若尾 志返り。ノ瀬川瀧浦相模川相模川園橋亮  
若尾 志返り。貴も楽しむ」大花山おしだし  
若尾 志返り。41657A0002011  
若尾 志返り。若乃洲の花若天電小城花巻・花  
若尾 志返り。たが、それもム。しかないとい  
若尾 志返り。0）答というは案外に少ないこと  
若尾 志返り。08422J1003077  
若尾 志返り。08410J1004037  
若尾 志返り。10997A0003003  
若尾 志返り。11893K0002010  
若尾 志返り。19321A0004147  
若尾 志返り。14332A0003014  
若尾 志返り。16743A0002023

若尾 南車312」7131〜87ア上層階歩8分地1655m2付  
若尾 南車和京多摩駅歩3分45坪付420万3画内庭24坪庭広岡秀  
若尾 文子・伊藤孝雄中原市山下海一劇原若若若若若若若若若若若若若  
若尾 他7・00あるの村づくり「みかん産地の雄雄力」8・00歴代  
若尾 志返り。たものですね。それにひきかえ社会党は最年少議員が四十二歳  
若尾 志返り。ますイノチがかよっているような精巧さ。誰にも傷つかない  
若尾 志返り。その当時六十五歳の石井次郎氏、六十四歳の大型俳優氏ら  
若尾 志返り。〜ジュ〜とリ・フレッシュケダ信懸票六枚収録アジア屋  
若尾 志返り。京成八千代台歩四南産庭二年6645総括79万京部39万5  
若尾 志返り。第一、大都会のビル各間に埋もれながら車道までよく生き  
若尾 志返り。登山家の野然な貌と死をまぎんだベストセラー小説、増刷出来、  
若尾 志返り。悪人たちの悲歌」の作者が指揮者として終日大ハンズ・ウエル  
若尾 志返り。ベルリン・ドイツ・オペラ公演  
若尾 志返り。間とチヌ人間、美談のターラと  
若尾 志返り。祭典係主演ベル・オカガノ  
若尾 志返り。年巻誌930」16467667  
若尾 志返り。ラオ風巻に、彼はその時、  
若尾 志返り。取材部員・新聞記者に同棲する。  
若尾 志返り。流行りのトップM=芙蓉船員謀議  
若尾 志返り。のむらに告げてM=およりも  
若尾 志返り。14339A0004026  
若尾 志返り。「高たのびは屋下りの情事・  
若尾 志返り。ラオ風巻をはじめ、年の功あり、  
若尾 志返り。春秋文」第一个公演は、偵之助の  
若尾 志返り。おとしらうです。ユベロンので  
若尾 志返り。なつ。あなたを美しく早春のた  
若尾 志返り。またえ「自由な時間」「情熱」「  
若尾 志返り。なだいなだ実演親子袖0カラ  
若尾 志返り。ハキ」面衣後4〜8時」貴女の  
若尾 志返り。指さす。衣袋全員貸す。経験聞  
若尾 志返り。けなしのクルールの格闘があなたの  
若尾 志返り。た商品用品を販売している会社で  
若尾 志返り。50772C1002010  
若尾 志返り。20世紀以下の成長株ですM=0  
若尾 志返り。62625J1001021  
若尾 志返り。おがボーンのおしゅれセーター  
若尾 志返り。まをえええ、早桜は北蕨山に  
若尾 志返り。も」18、800円はつらつた  
若尾 志返り。06109J1001022  
若尾 志返り。金剛の意比勢ナツ工場案内工  
若尾 志返り。36838J1001068  
若尾 志返り。とつて組くゆるめるくも野野  
若尾 志返り。しかも超くの組織は、便さき、  
若尾 志返り。小権からタキギを拾ってプロを  
若尾 志返り。でもな船効果がよいのでナカンで  
若尾 志返り。07309A0001043  
若尾 志返り。「M=質問時間35「風海軍の歌」  
若尾 志返り。り劇し」響門響見山くめ出し  
若尾 志返り。川原河津海軍演習場宇多川橋ノ國  
若尾 志返り。09990C1007950  
若尾 志返り。命のし9降雪ノ海をまたすくしい  
若尾 志返り。要理面談田原野市鎮中橋沢明喉  
若尾 志返り。教諭ら三枚船の協力による日夜を  
若尾 志返り。11花若天22橋玉青里817  
若尾 志返り。ノ道風山青ノ里寄り切り」若乃洲  
若尾 志返り。ノ瀬川瀧浦相模川相模川園橋亮  
若尾 志返り。貴も楽しむ」大花山おしだし  
若尾 志返り。41657A0002011  
若尾 志返り。若乃洲の花若天電小城花巻・花  
若尾 志返り。たが、それもム。しかないとい  
若尾 志返り。0）答というは案外に少ないこと  
若尾 志返り。08422J1003077  
若尾 志返り。08410J1004037  
若尾 志返り。10997A0003003  
若尾 志返り。11893K0002010  
若尾 志返り。19321A0004147  
若尾 志返り。14332A0003014  
若尾 志返り。16743A0002023

009932



ここでは「書く」という語について、それぞれのKWICでどんな形が現れたかを示してみます。各列左が「話」で右が「書」です。

カカ	セル	2	2
	ナイ	5	1
	レル (受身)	6	15
以上 計		13	18
カキ	中止		6
	動詞につづく	17	13
	タイ	1	
	ナサイ	11	1
以上 計		31	20
	オカキノウエ		4
	オカキ(ソ/ニナル)	6	
以上 計		6	4
	カキイレ	1	1
	カキオロシ		1
	カキクダシ		1
	カキコミ		1
	カキダシ		1
	カキッパナシ		1
	カキカタ	5	3
(ヨミ)	カキ(ソロバン)	1	
	カキカエ	4	
	書留		6
以上 計		11	20
カキ	計	48	44

カイ	タ	終止	3	3
		～ノ	3	
		～ナ	1	
		～ネ	1	
		～カ	2	
		～カモ～	1	
		～ソウデス	1	
		～ト(～)	4	
		～ガ		2
		～カラ	1	
以上 計			17	5
		連体		
		～名詞	10	10
		～ノ	2	2
		～ン	6	
		～コト	5	
		～ダケ	2	
		～ハウ	1	
		～トコロ	1	
		～モノ	3	2
		～ワケ	1	
		～ツモリ	1	
		～ウエ		1
以上 計			32	15
カイ	タラ		6	
	タリ		3	
以上 計			9	

カイ	テ 中止	26	8
	～用言	121	18
	～ネ	6	
	～ナ	1	
	～イイ	1	
	～?	1	
	～モ	1	
	テル	9	
	テン	3	
	テが融合したもの		
	タ、タル、タン	6	
	チャ	5	
以上 計		180	26
カイ 計		238	46
カク	終止	11	2
	～ノ	14	
	～ナ	1	
	連体	15	5
	～ノ	1	1
	～ン	16	
	ナラ	1	
以上 計		59	8
カケ	命令	5	1
	～バ	2	1
カキヤ		1	
以上 計		8	2

カコ		1	
	～ウ	4	1
以上 計		5	1
カケ	ナイ／ズ	5	2
	マセン	3	
	ル	8	1
	タ	2	
以上 計		18	3
総 計		389	122

ここではカキマスの形はそんなに多くはありません。範囲をカキの語形全部に広げても、カクよりも少ないのです。しかし、日本語教育の一般的な伝統に従ってマス形を出発点とすることにします。第一課とは離れてこの「書く」の表を見ますとカイの形が圧倒的に「話」の世界のものであることがわかります。特に終助詞「の」のついた形、準体動詞「の／ん」のついた形でこの傾向が強く現れています。カクの形についてもこのことは言えます。最後のカケナイなどは可能動詞の関係のものです。

形容詞文では、「Aいです」の形は当然認めることになります。この形はわたしの年代の者には多少の違和感があるものの、既に1952年の「これからの敬語」で正式のものとして認知されました。また、この形は形容動詞のところと同じになる点でプラスになると思います。

ここでの問題は動詞ではマスにつづける形、いわば連用形Iをとりながら、形容詞では辞書形をとるということです。動詞とそろえて連用形にし



て、「Aくあります」とするののも一つの考え方ですがここではとっていません。「Aくあります」とすると否定形の、ここでは採用している「Aくはありません」と結びつきやすく有利な面もないではありませんけれども。

形容詞の現在否定形としてはここでは「Aくはありません」としてはいますが、「Aくないです」も考えられます。しかし「Aくないです」をとらないのは、「Nではありません」や「Naではありません」と平行して「Aくはありません」の方が均整的であると考えたからです。名詞のときに「Nであります」は少々変で「Nではありません」と「は」を入れた方が自然ですので、「Aくはありません」「Naではありません」とすべて「は」を入れて統一することにしました。形容詞の場合「は」は入っても入らなくてもいいなどと教えるとそれだけ複雑となるでしょう。

形容詞の過去形は「Aいでした」を採用しました。これには多少問題がありそうです。この形は現行の日本語教科書では少数派です。調べた17種のうちではわずか2種に出ているだけです。しかし、多少古いでしょうが、この形は間違っていないし、また現実に時には現れる形です。形容動詞文と同じになることと、動詞文の「Vました」と平行してデスの形の方で「Aいでした」と均整がとれるから、というのがその理由です。この方が覚えやすいことは疑いありません。

「連体修飾用法」をまず形容詞文で認めたのは二つのKWICを調査した結果です。動詞の「上がる」「当たる」「会う」の3語と、形容詞の「青い」「赤い」「高い」の3語とについて、終止形と連体形をまとめたものをそこで辞書形と呼び、その現れ方の語の全体に対する%を出してみました。辞書形のうち連体形を別に出しました。したがって、辞書形から連体形を引いたものが終止形となることになります。なお、「書く」の方

も動詞2として出しておきます。3語のものが動詞1となります。

	動詞1	動詞2	形容詞	
「話」	辞書形	3 1	1 5	8 3
	連体形	1 1	8	4 2
「書」	辞書形	2 9	7	6 3
	連体形	1 4	5	5 4

動詞の辞書形の現れ方は語によって違うようですが、形容詞と違う点は、辞書形・連体形の現れ方が「書」も「話」も非常に少ないということです。やはり形容詞は連体修飾語となるのを主な職分としているからでしょう。そこで第一課でも、形容詞に連体形 — ひいては辞書形を与えることとしたいと考えました。

これと合わせて形容動詞文でも連体形を出すこととし、名詞文では、もっとも簡単なものとして「Nの」の形を与えます。

第一課の5では助詞についてです。実はこの5になるまでに既にいくつかの助詞は与えられています。順に「か」「は」「も」「の」「が」「に」がこれです。

このうち「か」は質問文を作る「か」です。この質問に対して「はい」「いいえ」の答え方も同じく課文で与えます。

動詞文までは主語はすべて「は」で示しますが、存在文になって「が」が導入されます。当然「は」と「が」との問題が出てきますが、早いステッ

プでは、むずかしいことは言わず、「が」は話し手と聞き手との間で始めて登場するトピックの時に使う、ぐらゐに止めます。

助詞の「に」は存在文のところで、場所を示すのに最初に出てきます。次の5のところでその他の意味が出てきます。到達点や方向を示すものとしては「に」だけをステップIでは教えます。似た意味の「へ」は早いステップでは取り上げませんが、これについては「日本語学」に書き、これにつけ加えるべきことはありませんから、これをご覧いただくこととしてここはこれだけにしておきます。

第一課で教える助詞は以上のように、5までに述べたものとその意味です。

助詞「から」では、意味・用法のうち一部しか第一課では呈示しません。「から」の意味については次のようなものがあります。（国立国語研究所報告3「現代語の助詞と終助詞」などによる。）

## I. 格助詞

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| ① 起点を示す。          |              |
| ② 材料を示す。          | 「酒は米から作る。」   |
| ③ 相手方を示す。         | 「先生からほめられた。」 |
| ④ 原因・理由を示す。       | 「興奮から泣きだした。」 |
| ⑤ 経由を示す。          | 「窓から日がさす。」   |
| ⑥ 以上の意、「も」の意味を示す。 | 「千人からの人がきた。」 |

II. 接続助詞 原因・理由を示す。

IIは形から次のように分けられます。

- ① 用言・助動詞の終止形につける。(下の②③を除く)
- ② 「から(に)は」の形で。
- ③ 「からに」の形で。 「見るからに丈夫そうだ。」
- ④ 「てから」の形で、それ以後の意味。

これが「話」「書」でどれくらい現れたかを%で示してみます。

	格助詞					
	①	②	③	④	⑤	⑥
「話」	31.70	0.16	1.05	0.93	0.98	1.59
「書」	69.49	1.18	2.89	6.76	0.79	2.89

  

	接続助詞				計
	①	②	③	④	
「話」	60.17	0.14	0.03	3.25	100.00
「書」	13.50	0.10	0.10	2.30	100.00

この表から分かるように、「話」と「書」とでは全く傾向が逆になっています。「話」では圧倒的に接続助詞としての用法が多いのに対して、「書」は格助詞が多いのです。このことからするならば、話し言葉からスタートする簡約日本語では接続助詞の方を先に教えるべきだ、ということになります。他の助詞で習うのは格助詞が多いのでここでは格助詞の「から」を教えることになります。書き言葉を頭の中にもず置いていた今までの教え方は実は反省しなければならないことでもありましょう。また、

接続助詞を使った構文はこのステップではむずかしすぎますので教えないことにします。

なお、起点を示すもので場所と時間とどちらが多いかについては、「話」は場所が；「書」は時間が多いという点まで違っています。

「で」についても、限定、原因・理由の意味は後に呈示することとします。

「から」や「まで」のここでの意味では、例えば「どこから来ましたか」に対して、「東京からです」のように、助詞にすぐ「です」をつけて返事をする事ができます。しかし「何を読んでいますか」に対して「本をです」とはあまり言いません。この助詞では「です」がすぐつく、これはつかない、などと一々覚えるのは初歩のステップとしてはよくないと考えるので、ここでは「どこまで行きますか」に対しては「東京まで行きます」のように略さずにすべて答えるということにしておきます。

これらの根拠は「話」のKWICの調査結果によっていますが、その詳細については「日本語学」に書きましたので、ここでは省略することとします。また「日本語学」では、いろいろの疑問副詞とこれらの助詞との結び付き方の調査結果と、間に使った助詞が答にもそのまま使われている比率などについても報告してあります。

外国人としては、何かを求める気持ちを表したいことが多いのではないかと考えて、第二課では、これを、希望の表現、意志の表現、消極的行為欲求の表現、積極的行為欲求の表現の、四つの表現意図による文型として、授けることとしました。

ここでは当然、第一課で使った文型しか使えない、という制約があります。そこで、上述のようなものとなります。例えば積極的行為欲求の表現形式としては、いわゆる命令形はありません。

「Vなさい」には、「Vなさいますよう」や「Vなさいますようおねがいます」などがあって、これは長くなるほど丁寧であることは余裕があれば授けることになります。

ステップⅡの第三課は、少し文型の系列から離れて日常のあいさつや、買い物の時のことば、これに付随して数字の示し方が入ります。「さよ(う)なら」「いって(い)らっしゃい」はカッコの中は略しても言うことをここでは示していますが、このようなものはどちらか一方だけとしよう、という考えもありましょう。どちらか一方とすれば、カッコの中を入れた形というのが簡約日本語的な考え方でしょう。

「おやすみ(なさい(ませ))」は前の「Vなさい(ますよう(おねがいます))」と同じことを表します。

Ⅲ-3のところ、いわゆるコソアの体系をCに入れるところで与えますが、なおここは具体的な「洋服はどこにありますか」のようなものでもいいのです。

D, E, H, I は、答の部分に数字が入るもので、第三課の最後にこの使い方をD～Iとして示しておきます。ここでも簡約日本語についての考え方の基本が関わる場合があります。

ここでは日本人の日本語として正しいと思われるものを表示してあります。数字の読み方については場合によって違っていますので、それが全部

わかるようになっていきます。カッコの中はこれも読むというものです。上と同じときは省略してあります。カッコの中でも「百」や「千」のところはその「百」や「千」などを何と読むかを示してあります。これはこれでもいいというわけではありません。Hの何時間か、というのとIの何時か、というのでは、ほとんど同じですが、何時かへの答の方は「九」について「くじ」となり、時間の方の「く（きゅう）時間」となっていて違います。この点だけ違うので「分」のときのようにHと同じとはいきません。

以上のような次第ですが、早いステップとしてはこのⅢの数字の表は少々むずかしすぎる、と思います。簡約日本語としては、いち、に、さん、・・・の系列と、ひとつ、ふたつ、みっつ、・・・の系列だけを基本的なものとし、その下の助数詞が何であれ、この基本的な数で行く、という考え方もあると思います。甚だしい場合は、いち、に、さん、・・・だけ数えてすませることも可能でしょう。この極端な場合から、ここに表示した場合までの間に、考えるステップは多々あると思います。このあたりは、それぞれの教師が、何時間で終えるコースであるか、割くことのできる時間はどのくらいか、などということをも材料に自らどこまで教えるのかを決めるべきなのだ、と思います。

この表はいわば日本人の日本語の読み方ですので、簡約日本語であれ何であれ、外国語としての日本語教育で到達すべき最終目標を示していることとなります。簡約日本語的に考えるならば、より基本度の高いものであり、大きな数まで一つのシステムでいける漢数字系列を教えるべきでしょう。このために例えば「しじゅうし円」などということになっても分かるので認めるとすべきです。

助数詞については、円などとともにも度量衡のもののほか、個と枚だけにしました。このところは日本人の日本語より少し少ないこととなります。個と枚だけにしたのは旧日本陸軍陣営具や衣類の数え方がこれだけであったのをヒントにしています。この点で言えば今の若い人の「年齢が二個上だ」などというのは簡約日本語的と言えましょう。

第四課では、デス・マスについての総まとめと残された問題とを取り上げます。これは簡約日本語的な考え方であって、一つの形に関するものは、なるべくひとまとめに教えてしまうのが能率的と考えるからです。

まず、デス・マスの活用形をまとめて出してあります。カッコの中に示したものは、自然さの程度が大分低くなるものです。Vで言えば「ますなら」「ます時」「ますので」などをあまり言わない、と言っている人もいますが、そんなことはありません。丁寧な表現の時はよく使います。

2の「他の動詞がつづく形」はすべてマスに続く連用形Iからのものであって、そのほかのものではありません。「Vたまえ」の形はやや古いし、また命令形なので授けなくてもいいと思います。命令的表現は既に第二課の積極的行為欲求の表現として提示ずみとなっています。

4の「名詞」は、Vの連用形Iがいわゆる転成名詞となるものを示していますが、すべての動詞が名詞になるわけではありません。そこで、一つ一つこれはなる、これはならないと覚えるのは面倒ですから、この4は必要かどうかを考えなければなりません。

ただ、簡約日本語の学習者に最初から持たせるべき二千語の辞書（これは動詞は連用形Iで登載されています）では名詞として使えるかどうかは



明示したいとは思っています。

以上で簡約日本語の概念は分かったことと思います。今まで音声については多くは書いていませんが、話し言葉を中心と考えますから、音声的な音韻については、別に簡約化する必要はないでしょう。あるいはすべきではないと言えます。

アクセントについては、はじめのうちはそう厳しく求めなくてもいいでしょう。何しろ無アクセント、乃至一型アクセントが存在するのですから。イントネーションについてはそれほど特異なものは日本語にはありませんから、世界のいろいろな言語に共通するもので話せばいいとします。例えば話しの終わり、質問文の終わりはそれほど特殊なものはないとすることにします。疑問詞で始まる質問文では下降調をとるといった英語のようなものはありません。

次に語彙について述べます。

今までこの問題について述べたことは、第一次千語、第二次千語とする、ということです。

この二千語は、数は少し多いかもしれません。Basic English の 8 5 0 語や、VOA放送の Special English の 1,4 0 0 語よりは多い。これは一つには日本語の語彙は基本語的でないと言われていることもわたしの頭にあったと思います。しかし考えると、この基本的でない、ということは本当に言えるのかには疑問を感じます。

この二千語は今のところ確定はしていません。例えば「平成」という語

は入っていませんがこれは入れなければならないでしょう。その代わりに「昭和」を捨てるわけにいかないとすれば、何か別のものを1語捨てなければならないでしょう。

しかし、簡約日本語ではこの二千語を絶対守らなければならないとは考えません。これを多少無理して最初に千語と限定した例をわたしが最初に示したことから誤解も多かったように思います。

今のところは、そう千語なり二千語なりにとられることなく、課文にあっては二千語以外のものも使って、それは二千語以外のものとして使い、覚えるものなら覚えてもらってもいいのではないかと、思っています。

さて、語数をいくら制限しても、多義語を野放しにしたのではむしろかしさは残ります。そこでわたしは今まで、1語について3義に限る、ということを考えています。暫定の二千語について2義以上の多義語を数えてみますと、第一の千語では4 5 5語で第二の千語では3 6 7語となっています。

実は、アメリカの Caterpillar という会社が自分の会社のカタログやマニュアルを全世界の人々に分かりやすく知らせるために設定した850語について、1語1義ということを標榜していますが、これで最後までいけるのかどうかわたしには分かりません。1語3義と申しましたが、簡約日本語では4義となってしまった例外もないことはありません。

簡約日本語の多義語については、どの語義が使用度が高いかを参考として、前から述べている二つのKWICについて調べ、それぞれの語の語義を最終的に決定したいと考えています。以下その調査の一部分を挙げてみます。このような形の語彙論は今までないようですが、このようなもの

も本当のところは必要なのではないでしょうか。

ここでは意味別の分布のほか、「書」ではどのような表記をとっているかも示します。また、活用語については、学校文法的な活用形をも示しておきます。数字は小数点以下一位のものが%で、合計のところだけは、それぞれの資料に現れた実数です。また、活用形の分布の一部については実数で示します。これは小数点のない数字ですので分かると思います。

「明るい」という語について。意味としては、①光が十分な状態だ、②ほがらかだ、②-2として、不正や後ろぐらいところがない、③よく知っている、などがありますが、②-2は①~③の他に設けたものです。またその他として「希望」というのがあります。これは「前途が~」「見通しが~」などがありますが、これは広く言うと②のうちに入れることもできるでしょう。

	「話」	「書」 明るい
①	47.1	4.2
②	52.9	75.0
②-2		4.2
希望		16.7
合計	17	48

意味としては一番基礎である①は「書」では特に少ないようです。次の活用の合計の数は上の表と同じです。

	「話」	「書」
アカル カッ		2.1
ク	35.3	35.4
イ (終止)	5.9	4.2
イ (連体)	58.8	58.3

活用の方ではこの語の場合「話」と「書」とはよく一致していると言えます。

実質的な名詞の例として「あたま (頭)」を示します。意味として簡約日本語に登録する候補として、①首から上、②頭脳の働き、③頭髮、があります。

	「話」	「書」 頭
①	39.7	74.4
②	36.9	20.5
③	9.9	5.1
その他 1. はじめ	3.6	
その他 2. 先頭 一番	9.9	
合 計	111	39

この意味を見ますと、肉体的な「首から上」の意味は書き言葉的であることとなります。話し言葉では、ここで、その他の二つの意味が相当あるのに対して書き言葉には全くありません。三つの意味を考えたときのわたしの「頭」は書き言葉的であったか、と反省させられます。

ここでは集計していないものに慣用句があります。語例数は「話」19、「書」17ですが、その内訳が二つの差を表していてもおもしろい。まず

「話」では「頭が痛い」3、「頭をかかえる」1、「頭が重い」1、「頭にくる」14、であるのに対して、「書」は「頭をかく」2、「頭を下げる」4、「頭が痛い」1、「頭を痛める」5、「頭を悩ます」1、「頭をかかえる」3、「頭をひねる」1、となっています。「頭にくる」は話し言葉的と言えるでしょう。助詞「を」を使った慣用句は書き言葉的と言えるのかもしれませんが、これにもう少し多くの例を他の語についても集めてから言うべきことでありましょう。

「書」は複合語として「坊主頭」が一つありました。この「書」は新聞を例としているのですが、特に新聞的なものとして広告欄に頭金の略としての「頭」が174あって、これは大勢力です。新聞を読むための日本語教育では無視できないと思いますが、今もそうなのかどうかは調べてみると分かりません。

次に副詞の「いつも」です。意味は、①いつでも、②ふだん、としましたが、実際に当たってみますと、この二つは重なる部分があるようで分けにくいところがありました。しかし、にもかかわらず分けた結果を次のように「話」と「書」とで相当違えます。

	「話」	「書」
①	51.9	88.1
②	48.1	11.9
合計	79	42

「書」の方は、他に「いつもながら」1がありました。「書」の方が意味①に傾いているとは言えるでしょう。

次に動詞「動く」ですが、簡約日本語のこのステップでは「動き」という形で与えます。

意味は、①移る、②変わる、③移動する、に3大別します。細かく分ければいろいろになりますが、多くはこの三つのバリエーションと考えられます。その他に「感動する」の意味があると思われませんが、ここには出てきませんでした。

	「話」	「書」		計
		動く	うごく	
①	67.2	11.7	100.0	12.3
②	13.4	40.9		40.6
③	19.4	47.4		47.1
合計	67	154	1	155

「話」と「書」とで意味の分布に大きな違いがあることが明らかです。ここでは「話」は基本的意味が多いことが指摘されますが、他の語でもそうであるかはまだ決められないところがあります。

活用などの形は簡単に示しますと、次のようになります。

		「話」	「書」
動カ	ナイなど	10	4
動キ		6	9
動イ	タ	3	1
	テ	5	13
動ク		20	11
動コ	ウ		1
動ケ	バ	1	
動ケル		1	1
合計		46	40

この表の合計欄が意味の表の合計欄と違うのはこの活用のところでは

「動かす」などの別動詞が省いてあり、また「動き」という名詞形が省いてあるためです。名詞形は「話」で6例、「書」で102例でした。名詞形は非常に書き言葉的です。

名詞の「うち」について。わたしは最初3義として、①なか、②一定の限度内、③自宅、を挙げましたが、資料に当たっている人の意見によって、②、③をそれぞれ二つに分けて考えて、あとでこれを三つにしていくのはどうすべきかを決めることにしました。ここで①は、空間的に設定されたある範囲の内部、内側、②-1は、具体的な事柄についてある範囲を限定し、その範囲内で物の考えられるべきことを表す語、②-2は、時間的に設定されたある範囲の内部、あいだ、③-1、自分の属している、会社・役所・学校などの団体や機関、自分の家庭、我が家、③-2は、自分以外の一般的家庭、人が住むための建物、としました。これは「大辞林」(三省堂)の意味記述を参考として述べたものですが、この辞書で名詞について12の意味を立てています。このうち第8までの意味のうち⑤を除いてのものは上の五つに入れてしまいます。また、これに入らないものとしては⑤心の中、内心、⑨内裏、宮中、⑩天皇、⑪妻、夫、⑫仏教以外の教えに対して、仏教を指す、がありますが、簡約日本語としては無視してよろしいか、と思います。奥さんが手紙の署名として夫の姓名のあとに書く「内」はこの⑩でしょうか。これは現代に生きていますが、早いステップで教えることはないでしょう。

なお代名詞としての「うち」は無視します。

以上によって、資料を意味分類すると、次のようになります。

	「話」	「書」		計
		う ち	内	
①		0.5		0.5
②-1	3.8	65.9	100.0	66.3
②-2	12.2	25.2		24.9
③-1	58.9	8.4		8.3
③-2	25.1			
合計	606	202	3	205

この結果を見ますと、この語の基本的な意味と考えられる①の意味ではほとんど使われていないことがわかります。使用率だけによらず、基本的な意味に、いろいろな意味を類推する基礎として教えるべきだ、という考え方はありますが、それにしてもこれは少なすぎます。「内側」などの語があれば「うち」ではこの意味を教えないことにしてもいいと考えますけれども、今のところ暫定的な二千語の中には「内側」は入っていないので、これから考えることになります。

①をやめるとして、3義をどれにすべきかが次の問題です。②が書き言葉的、③が話し言葉的、ということのはっきりしました。三つ目として②-2を残すか、③-2を残すか、という決定をしなければなりません。②-2は話し言葉にもあるのに対して、③-2は書き言葉ではゼロですから、これをカットする、という考え方があるでしょう。この③の意味としては別に第一の千語の中に「いえ」があるのですからこれを使うように少なくとも最初の方のステップでは考えるべきだ、ということになります。

なお、これに関しては「書」の資料に「家」という表記は一つも出てきませんでした。当時の新聞は多少は音訓表のことも考慮していましたから、当時「うち」という訓の認められていなかった「家」という字を使わなかったのでしょう。



動詞「生まれる」はあまり面倒なことはありません。意味①は、出生する、②は、生じる、です。

	「話」	「書」		計
		生まれる	生れる	
①	87.8	40.7	50.0	45.8
②	12.2	59.3	50.0	54.2
合計	49	27	32	59

なお「書」はすべて漢字を使った表記でした。慣用表現と考えた「持って生まれた」はここでは算入してありませんが、これを①に入れると「書」は①が51.0%、②が49.0%となります。いずれにしても、派生的意味の方が書き言葉に多くなっています。

なお、他に「(地名)生まれ」や「～年生まれ」の、ここでは名詞として扱い、上の表に含まれていないのが「話」で19例、「書」で「生まれ」14例、「生れ」13例、ここでは全部平仮名の「うまれ」1例がありました。

簡単な活用形の調べでは次のようになっています。実数です。

	「話」	「書」
ウマレ (未然)	2	3
ウマレ ～タ	18	28
～テ	20	7
～マス	2	3
～V	5	4
中止		6
ウマレル (終止)	1	4
(連体)	1	4
合計	49	59

「て」の形が話し言葉的で、「た」の形が書き言葉的なのは、今後のステップで、いわゆる「て」formをどう扱うかを考える参考になりました。

「書く」についても、この傾向は多少あります。

なお、当然「生まれる」は「生む」と関係があります。自動詞に対する他動詞です。これは「話」では2例だけですべて①の意味、「書」では全部で23例のうち3例が②の意味、20例が②の意味となっています。表記は1例だけ「産」で①の意味、あとはすべて「生」でした。

動詞の「打つ」について。意味としては、①物を他に強く当てる、②打ちつける、③ある動作・仕事をする、の3義としました。③は「岩波国語辞典」では「ある効果をねらって、ある事をする」となっています。ここでは「-1 囲碁・将棋」「-2 注射・鍼」「-3 電報・タイプライター」に分けました。なお銃砲の類の「撃つ」は別語として第二の千語に入っています。

	「話」	「書」		計
		打つ	うつ	
①	52.2	54.6		52.2
②	6.0	1.5		1.5
③-1	17.9	33.3		31.9
③-2	10.4	1.5	66.7	4.3
③-3	10.4	3.0		2.9
その他	3.0	6.1	33.3	7.2
合計	67	66	3	69

「話」のその他は「札所をうつ」「内金をうつ」一つずつでこれはともに③に入れてもいいものです。「書」のその他は合計で、ピリオドなどの文章に使う符号についてが3、心情についてと「ナワをうつ」とが各一つでした。

①、②、③ではすべて「話」と「書」とはほとんど同じ分布と言ってい

いでしょう。ただ③のそれぞれの中が違っています。-2についてはこれは確かに話し言葉でしょう。電報なども、書き言葉では「打電する」などとなるでしょう。

その他はやや慣用句的ですし、③もそうかもしれませんが、「書」では以上の他に、「手を～」4例、「相槌を～」 「ばくちを～」 「打って一丸となり」 「うってかわる」各1例となっています。この中には①や③に入れてもいいものもあります。

②は「釘を打つ」などを想定して立てたのですが、案外少なくてこれではこの意味は削ってもいいでしょう。多分①から容易に推し測ることができると思います。

①の意味はほとんどがスポーツ関係です。「話」ではすべてがそうで、35例中、野球27例、バレーボール4例、ボクシング4例です。「書」の方は36例中、33例がスポーツ用語ですべて野球でした。あとの3例は怪我で、「頭を(強く)打って」などです。

活用では次のようになっています。

	「話」	「書」
打タ (未然)	4	13
打チ	21	4
打ッ		
タ	4	9
テ	18	24
タラ	1	
タリ	1	
打ツ (終止)	6	11
(連体)	7	5
打テ		
バ	1	
打テ (命令)	2	
打テル (可能)	2	3
合 計	67	69

「て」の形が大変多いことはここでも同様です。「話」に「打ち」が多いのは「打ちます」が20例あるからです。その他の1例は「お打ちになる」です。

最後に形容詞「濃い」の例。意味としては最初は、①色や味の程度が強い、②密度が高い、の二つを考えていましたが、「書」の方にその他のものが多く出てきました。これは③として、可能性が高い、の意味を立てるべきかもしれません。「疑いが～」「優勝の色が～」などがこれですが、なお「反米色が～」などは物事のある様子が強く現れている、の意味です。特に書き言葉的であると言えます。これらは①、②から類推ができるとも考えられますが、この①と②も一つにまとめて、これは多義語としないという考え方もありましょう。これから考察すべき問題です。

	「話」	「書」		計
		濃い	こい	
①	77.8	18.8		17.6
②	22.2	37.5		35.3
その他		43.7	100.0	47.1
合計	9	16	1	17

活用形は次のようになっています。

	「話」	「書」
濃ク		6
濃イ (終止)	3	2
(連体)	6	9
合計	9	17

「話」のうち連体の中に入れたものの一つは「グレーヤ、ワリトコイテ イイミテヤネ」というところに現れたものです。「濃くていい」の意味でしょう。終止のうち2例はデスに続いています。「濃ク」という形は書き言葉的と言えるでしょう。

以上まだ途中も、ごく最初のところだけですが、簡約日本語の大体の考え方について述べました。デス・マス体で書きましたし、ただ文体だけでなく内容も本誌のこれまで、及び本号の他の論文とは大分トーンが違っていて、なじまない感じをお持ちの方もおいでのことと思います。

今回のデータ作成に当たった共同研究者、川又瑠璃子、加持文子、その他の方々、また機会を与えて下さった松蔭女子学院大学の同僚諸氏に感謝します。